



令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和元年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 松浦一慶 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 令和元年11月12日 配当支払開始予定日 令和元年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	163,358	△3.4	15,020	△16.5	16,045	△20.9	11,550	△20.6
31年3月期第2四半期	169,031	1.4	17,979	△9.7	20,273	△6.4	14,549	1.5

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 10,074百万円 (△31.0%) 31年3月期第2四半期 14,597百万円 (△23.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	52.85	52.78
31年3月期第2四半期	65.98	65.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	411,083	267,101	64.2
31年3月期	424,937	259,156	60.3

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 264,004百万円 31年3月期 256,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
2年3月期	—	11.00	—	—	—
2年3月期(予想)	—	—	—	10.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	△2.2	30,000	△9.5	32,000	△11.9	22,000	19.2	100.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	237,075,556株	31年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	2年3月期2Q	18,515,299株	31年3月期	18,577,060株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	218,524,921株	31年3月期2Q	220,511,496株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、令和元年10月31日(木)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間を振り返りますと、長期化する米中間の貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱問題など世界経済をめぐる懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,633億58百万円となり、前年同期に比べて56億73百万円の減収となりました。また、営業利益は150億20百万円と前年同期に比べて29億59百万円の減益、経常利益は160億45百万円と前年同期に比べて42億28百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は115億50百万円と前年同期に比べて29億99百万円の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、国内販売・輸出・海外子会社ともに、世界経済減速の影響を受け自動車産業向けを含む一般工業用品向けの需要が弱く、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

合成ラテックス関連では、手袋用及び化粧品材料用ラテックスが不調であったことなどから、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

化成品関連では、主力の水島工場で定期検査を実施した影響により生産量見合いの出荷を継続する一方で、アジア市況が軟化したことが重なり、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて83億5百万円減少し919億20百万円、営業利益は前年同期に比べて35億79百万円減少し59億67百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学樹脂、光学フィルムともに販売が堅調に推移しました。この結果、高機能樹脂関連は売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

高機能ケミカル関連では、化学品、電子材料、トナーは売上高、営業利益ともに前年同期を下回りましたが、電池材料は販売が堅調に推移し、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。この結果、高機能ケミカル全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて30億60百万円増加し454億71百万円、営業利益は前年同期に比べて4億44百万円増加し91億89百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を下回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期に比べて5億49百万円減少し270億15百万円、営業利益は前年同期に比べて96百万円減少し11億70百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、138億54百万円減少し、4,110億83百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、未収入金の減少等によるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ、217億99百万円減少し、1,439億82百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、仕入債務の減少等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ、79億45百万円増加し、2,671億1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年4月26日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,534	35,193
受取手形及び売掛金	74,823	70,487
電子記録債権	3,529	2,658
商品及び製品	52,494	50,102
仕掛品	3,832	2,919
原材料及び貯蔵品	14,799	14,747
未収入金	35,675	23,798
その他	4,631	8,765
貸倒引当金	△80	△90
流動資産合計	227,238	208,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,354	39,347
機械装置及び運搬具(純額)	33,334	31,509
土地	18,255	18,253
建設仮勘定	8,323	15,000
その他(純額)	3,057	4,271
有形固定資産合計	102,323	108,380
無形固定資産		
その他	3,197	3,057
無形固定資産合計	3,197	3,057
投資その他の資産		
投資有価証券	81,103	81,312
繰延税金資産	801	779
その他	10,505	9,221
貸倒引当金	△229	△245
投資その他の資産合計	92,179	91,066
固定資産合計	197,700	202,503
資産合計	424,937	411,083

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,862	59,256
電子記録債務	3,552	2,722
短期借入金	12,125	12,125
未払法人税等	6,894	3,643
賞与引当金	2,216	1,602
修繕引当金	4,013	2,864
その他の引当金	46	38
その他	22,331	25,467
流動負債合計	130,039	107,716
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,000	2,000
繰延税金負債	5,107	4,851
退職給付に係る負債	12,373	12,396
修繕引当金	648	372
その他の引当金	122	124
その他	5,491	6,522
固定負債合計	35,742	36,266
負債合計	165,781	143,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,240	19,252
利益剰余金	204,767	214,132
自己株式	△17,238	△17,181
株主資本合計	230,981	240,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,117	23,280
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	2,629	1,788
退職給付に係る調整累計額	△1,560	△1,479
その他の包括利益累計額合計	25,187	23,589
新株予約権	296	283
非支配株主持分	2,693	2,815
純資産合計	259,156	267,101
負債純資産合計	424,937	411,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	169,031	163,358
売上原価	119,745	115,997
売上総利益	49,286	47,361
販売費及び一般管理費	31,307	32,341
営業利益	17,979	15,020
営業外収益		
受取利息	69	89
受取配当金	1,276	1,639
為替差益	847	—
持分法による投資利益	124	91
雑収入	348	212
営業外収益合計	2,664	2,031
営業外費用		
支払利息	112	70
為替差損	—	691
雑損失	259	245
営業外費用合計	371	1,006
経常利益	20,273	16,045
特別利益		
固定資産売却益	7	2
特別利益合計	7	2
特別損失		
固定資産処分損	232	218
その他	20	25
特別損失合計	252	244
税金等調整前四半期純利益	20,027	15,803
法人税等	5,280	4,151
四半期純利益	14,747	11,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	197	102
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,549	11,550

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
四半期純利益	14,747	11,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,282	△838
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	△1,453	△880
退職給付に係る調整額	88	81
持分法適用会社に対する持分相当額	△70	58
その他の包括利益合計	△150	△1,578
四半期包括利益	14,597	10,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,505	9,953
非支配株主に係る四半期包括利益	92	122

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,027	15,803
減価償却費	9,087	8,231
のれん償却額	41	—
修繕引当金の増減額 (△は減少)	1,479	△1,424
受取利息及び受取配当金	△1,344	△1,728
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△534	△605
支払利息	112	70
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,063	4,535
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,835	2,897
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,820	△19,920
その他	△1,695	8,421
小計	23,093	16,280
利息及び配当金の受取額	1,500	1,837
利息の支払額	△132	△52
保険金の受取額	501	—
法人税等の支払額	△5,680	△7,064
その他	374	163
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,656	11,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,397	△8,405
投資有価証券の取得による支出	△112	△1,209
貸付けによる支出	△1,210	△2,330
貸付金の回収による収入	879	2,183
定期預金の純増減額 (△は増加)	△755	248
その他	△701	△1,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,296	△10,616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△158	—
長期借入金の返済による支出	△1,562	—
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△5,000	△0
配当金の支払額	△1,995	△2,184
非支配株主への配当金の支払額	△16	△34
その他	△80	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,811	△2,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	△145	△320
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,596	△2,128
現金及び現金同等物の期首残高	39,791	34,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,195	32,718

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	99,217	42,411	141,628	27,402	169,031	—	169,031
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,007	—	1,007	162	1,169	△1,169	—
計	100,224	42,411	142,635	27,565	170,200	△1,169	169,031
セグメント利益	9,545	8,745	18,291	1,265	19,556	△1,577	17,979

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,577百万円は、セグメント間取引消去41百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,618百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	90,968	45,471	136,440	26,918	163,358	—	163,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	951	—	951	97	1,048	△1,048	—
計	91,920	45,471	137,391	27,015	164,406	△1,048	163,358
セグメント利益	5,967	9,189	15,156	1,170	16,326	△1,305	15,020

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,305百万円は、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,330百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。